

行政報告

令和元年第6回定例会

ふるさと納税寄附額が前年の2.3倍 北限の桃の販売額が前年の1.8倍 スキー全国大会の2年連続W開催が決定

令和元年第6回鹿角市議会定例会が11月29日から21日間の会期で開かれ、補正予算案などの議案が審議されました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■第7次総合計画の策定

基本構想の策定に着手しており、現在、本市の現状と課題の整理を進めるとともに、新しい時代を見据えた本市のあるべき姿について、幅広い年代から意見を伺っています。

第1回「かづの未来会議」では「市民アンケート」や「まちづくり中高生アンケート」の結果を示しながら、理想とするまちについて話し合い、人口減少が進行しても、市民一人ひとりの幸福感を大事にすることや、残したいものを失わずに次世代に引き継ぐことの重要さなどについて議論がありました。

これまで頂いた意見のほか、今後の会議において、議論を深

めながら、3月までに基本構想の素案を取りまとめていきます。

■ふるさと鹿角応援寄附

11月25日現在の寄附申出額は、6776件、9048万4千円と、前年同期の2.3倍となり、すでに昨年度の総額を上回る実績となっています。

年末に向けて申出件数が多くなることから、返礼品協力事業者などと連携し、りんごや米、きりたんぽなど、市の特産品の魅力を知っていただき、より多くの方々から応援いただけるよう取り組んでいきます。

■ホストタウンの推進

10月9日に、テニスやバスケットボールの競技団体のほか、県・学校・商工関係、文化・国際交流関係の各団体の参画により、ホストタウン推進協議会を立ち上げ、地域を挙げて、ホストタウンプログラムを推進する体制を整えました。

東京オリンピック・パラリンピックに際し、相手国であるハンガリー選手への応援と、大会終了後の選手や関係者との交流を通じて、地域が活性化し、皆さんの記憶に残るものとなるよう、引き続き、準備を進めていきます。

■民生委員・児童委員を委嘱

新たに民生委員・児童委員119人、うち主任児童委員9人に対し、厚生労働大臣および県知事からの委嘱状を12月2日に伝達しました。

今後3年間、社会福祉の増進に向けて、市民の皆さんが住み慣れた地域で、笑顔で暮らしていただけるよう、活躍いただけることを期待しています。

■子育て支援の充実

市内8カ所の放課後児童クラブのうち、昨年度から5施設で段階的に高学年の受け入れを実施しましたが、残る十和田小学校区と花輪小学校区でも、来年

■東京都葛飾区との交流

「寅さんサミット2019」では、きりたんぽ鍋のルーツを追求して開発した「山子鍋」の提供や、柴又帝釈天参道にある老舗和菓子店とのコラボメニュー「あんきりたんぽ」の限定販売、「花輪ばやし」の演奏などを行い、本市の食と伝統文化の魅力を効果的に発信できたものと考えています。

■統合校の学習環境を整備

花輪第一中学校の大規模改修工事が10月25日に完了しました。花輪第一中学校と花輪第二中学校の統合校舎として、バリアフリー化を進め、生徒の学習環境の整備・改善を図りました。4月からは新たに「花輪中学校」としてスタートしますので、引き続き、統合に向けた準備を進めていきます。

■史上初の国体連続開催

第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会が、令和3年2月に花輪スキー場を会場に開催されますが、第77回大会も本市で開催されることが決定しました。国体の2年連続開催は、大会の長い歴史の中で初めてのことであり、大変名誉なことです。全日本学生スキー選手権大会との2年連続ダブル開催になりますので、スキー関係者と連携を十分に図りながら、市全体で大会が盛り上がるよう準備を進めていきます。

10月28日の鹿角家畜市場では、63頭の売買が成立しましたが、このうち日本短角種は49頭で、税抜きの平均取引価格は、昨年を5万3400円上回る25万9429円となりました。

■日本短角種の販売促進

果実の肥大時期に天候が安定したこと、前年比で集荷量150%、販売額180%の約1億3300万円の販売実績となりました。

消費者や市場関係者の認知度と需要は年々高まっていますので、引き続き、こうした需要に応えられるよう、関係団体と連携して技術指導や作付面積の拡大を支援し、安定した生産量を確保していきます。

今年度の熊の目撃数および被害件数は、ブナの実の凶作などにより増えることが懸念されたものの、最終的には平年並みとなりました。

早くから集落座談会やメール配信サービスなどにより、被害防止に向けた啓発に努めました。が、花輪第一中学校付近や、大湯温泉街における事故は、これまで目撃されることのなかった市街地で発生しており、熊の生息域が拡大してきている状況です。

引き続き、関係機関との連携を図りながら、市民への情報提供や広報などによる注意喚起に努めるほか、鳥獣被害対策実施隊による迅速な駆除体制を維持していきます。

引き続き、関係機関との連携を図りながら、求人・求職のマッチングを進め、内定率100%の早期達成と市内企業の人材確保に取り組んでいきます。

総務課 行政班

☎30・0203



行政報告を行う児玉市長



かづの未来会議で理想とするまちの姿を議論



民生委員・児童委員を新たに委嘱



色鮮やかな北限の桃



かづの牛の取引価格が上昇



2年連続国体の開催が決定（写真：平成25年に行った第68回スキー国体）